

太田白雪について

太田白雪 寛文元年（1661）～享保20年（1735）

通称金左衛門長考。有髮散人・蜜雲峰・周白雪ともいう。

三州新城の人、屋号は升屋、床屋役を勤め、質物・酒造・味噌・米穀・茶等を業とした当地の名家。

幼少から俳諧を好み芭蕉に師事。元禄4年（1691）白雪31才の時に芭蕉の新城訪問時には自邸に迎え、二人の子どもに桃先・桃後の号をもらったと支考の「笈日記」に見える。（※注1）

主な俳書には「俳諧曾我」、「きれぎれ」、「三河小町」の三部作があり、芭蕉俳人として世に聞こえた。その他に「歳旦始与市」などがある。

また郷土史研究にも力を注ぎ、「大野近辺聞書」、「新城雑旧記」、「鳳来寺道之記」、「反古さがし」、「三河名跡志」等の随筆もある。（※注2）

享保20年6月7日、75才で没した。元文元年（1736）には甥の桃鯉により一周忌追善集「雪なし月」が刊行された。

（※注1）「笈日記」の該当部分は「三河文献集成 近世編下」に収録されています。

（※注2）太田白雪の主な著作は「新修太田白雪集」に収録されています。

参考文献「俳諧大辞典」（明治書院、1978）

「三河文献綜覧」（豊橋文化協会、1954）

太田白雪の主な著作

書名	場所	請求記号	資料コード
三河名跡志	橋良文庫	A291/12	101195451
新城雑旧記	閉郷土	A292/331	123386039
新城聞書	閉郷土	A292/332	123386054
大野近辺聞書	橋良文庫	A292/23	101194405
鳳来寺道之記	橋良文庫	A292/25	101193019
続柳陰	橋良文庫	A292/39	101196962
百人一首解	橋良文庫	A911/33	101196236
雪なし月	閉郷土	A913/206	123385247
霜の音	閉郷土	A911/249	124623687

太田白雪の主な研究書

書名	場所	請求記号	資料コード
三河文献綜覧	閉郷土	A025/1	100627918
三河文献集成 近世編（上）	閉郷土	A080/11/1	100634336
三河文献集成 近世編（下）	閉郷土	A080/11/2	100634344
新修太田白雪集	郷土	A222/57	124310517
太田白雪の先祖と子孫	閉郷土	A289/467	122600166
百人一首解 百敷のかかみ	郷土	A911/283	110443959
東海の芭蕉	郷土	A913/27	100242114
尾三古俳書解題	郷土	A913/59	110013661

※閉郷土・橋良文庫の資料は2Fカウンターで請求して下さい。

なお、橋良文庫は主に原本です。取り扱いにご注意下さい。

※太田白雪の著作の多くは「新修太田白雪集」に収録されています。